

作成年月日	平成22年4月12日
作成部局課室名	県土整備部住宅建築局住宅政策課

## 「ひょうごの近代住宅100選」(神戸・阪神間の洋風住宅)の選定

神戸・阪神間において、西洋の建築様式の強い影響を受け、明治から戦前にかけて数多く建てられた近代住宅は、当時の生活様式を現代に伝える貴重な文化遺産として、また、地域の優れた景観のシンボルとして、全国でも他に例を見ない兵庫県独自の地域文化を培ってきました。

これら近代住宅は、阪神大水害や戦災を経て、さらに阪神・淡路大震災によりその多くが滅失しましたが、それらの試練を乗り越えたものも、昨今の社会経済情勢の変化等に伴い、滅失や建て替えられていく傾向が見られます。

そこで本県では、神戸・阪神間に残るこれら貴重な近代住宅を一つのまとまりとして再認識し、関心を高めるとともに、よりよい住まいづくり、地域づくりの一助とするため、兵庫県住宅審議会に小委員会(委員長:小森星児神戸山手大学名誉教授)を設置し、下記により「ひょうごの近代住宅100選」(神戸・阪神間の洋風住宅)の選定に取り組んできました。

このたび、昨年10月に発表した60件に引き続き、別添資料のとおり40件を選定しましたので発表します。

### 記

#### 1. 選定対象の要件

- ①地 域:神戸・阪神間に存するもの
- ②年 代:明治から戦前(昭和20年頃まで)に建設されたもの
- ③建築様式:西洋の建築技術又は意匠の影響を受けて建てられたもの
- ④用 途:住宅(過去に住宅として使われたものを含む)

#### 2. 選定基準

- ①神戸・阪神間の歴史・文化を語る上で重要な住宅
- ②地域の景観資源として重要な住宅
- ③当時の建築様式を伝える価値が高い住宅

#### 3. 選定方法

既往調査と公募により選定候補物件をリストアップし、これらの中から、神戸・阪神間に残る貴重な文化遺産として、また地域の景観のシンボルとして優れたものを、住宅審議会小委員会の審査を経て選定した。

(第1回小委員会)  
H20.8.5

リストアップ (230件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既往調査:100件</li> <li>・公 募:193件</li> </ul> (うち重複63件)

(第2回小委員会)  
H21.1.26

予備選定 (157件)
[選定基準] <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化を語る上で重要な住宅</li> <li>・地域の景観資源として重要な住宅</li> <li>・当時の建築様式を伝える価値の高い住宅</li> </ul>

(調査) ↓

<b>ひょうごの近代住宅100選</b> (神戸・阪神間の洋風住宅)
---------------------------------------

(第3回小委員会)  
H21.8.18

前回選定 60件	H21.10.26 公表済
----------	---------------

(第4回小委員会)  
H22.1.25

★ 今回選定 40件
------------

【選定フロー】